

# 未来への航路

ひらかわ あらた  
**平川 新**

宮城県慶長使節船ミュージアム サン・ファン館 館長

## カリフォルニアのスペイン語地名

前回、スペイン人大使のセバスティアン・ビスカイノは、日本を征服するつもりで仙台領の港にスペイン語地名をつけたと紹介しました。来日前の彼の経歴は、その解釈に説得力を与えます。

## ③2 カリフォルニアを植民地にしたビスカイノ

1521年にメキシコのアステカ王国を滅ぼしたスペインは、1542年にカリフォルニア海岸地域の領有を宣言します。その後1601年にスペインのメキシコ副王は、探検家のビスカイノにカリフォルニア海岸線の調査と地図の作成を命じました。カリフォルニアの領有を実質化するにも、植民地であるマニラとメキシコを往復するガレオン船の寄港地を探すためだとされています。

その探検のときにビスカイノは、あちこちにスペイン語の地名をつけてスペイン領であることを明示したのです。その一部をマップに示しました。



カリフォルニア、ロサンゼルス、サンフランシスコなどもスペイン人が付けた地名

ビスカイノのカリフォルニア探検

## アメリカ大陸の国名と地名

そのアメリカもイギリスの植民地でしたから、アメリカの土地の名は生き延びています。歴史の刻印とは重いものですね。

中米を植民地にしたスペイン勢力は、南米の太平洋側をほとんど南下してベネズエラとコロンビアを支配し、さらにはインカ帝国を滅ぼして現在のエクアドル、ペルー、チリを乗っ取り、アルゼンチンまでも植民地にしていきました。



出展:ラテンアメリカ地誌  
中南米の宗主国。全域がヨーロッパの植民地になった

名前にはイギリス由来のものも少なくありません。たとえばニューヨーク(New York)は、イギリスのヨーク公(のちの国王ジェームズ2世)が支配したことから名付けられた地名です。ニューハンプシャー(New Hampshire)やニュージャーシー(New Jersey)も、イギリス移民たちが母国の地名からつけたものです。ボストン(Boston)もイギリスの地名からとられています。メキシコはヌエバ・エスパーニャ(Nueva España)ともいいますが、これはニュースペインという意味です。いずれも、母国にちなんだ新天地としてNewを付けたものでした。

一方、ポルトガルは南米大西洋側を植民地にしましたが、ブラジルはポルトガル語の「貴重な」という言葉に由来するそうです。ブラジル最大の都市サンパウロは、ポルトガル語の「聖パウロ」を意味します。

いずれも母国語の地名をつけることが支配の証明になっていきます。こういうことを知ると、ビスカイノが仙台領にスペイン語地名をつけてまわったというのをロマンとして受け入れるわけにはいかないですね。ヨーロッパ勢力による世界植民地化の動きが日本でも具体化されようとしていたからなのです。

国名	国名由来の言語	表記	由来、意味
ヌエバ・エスパーニャ(メキシコ)	スペイン語	Nueva España	新スペイン
エルサルバドル	同	El Salvador	救世主
コスタリカ	同	Costa Rica	豊かな海岸
ホンジュラス	同	Honduras	深い淵
ドミニカ	同	Dominicana	コロンブスが到達した日曜日 Domingo にちなんで
プエルトリコ	同	Puerto Rico	豊かな港
ベネズエラ	同	Venezuela	小さなベネチア
コロンビア	同	Colombia	コロンブスの土地
エクアドル	同	Ecuador	赤道
アルゼンチン	ラテン語	Argentum	銀
ブラジル	ポルトガル語	Pau-Brasil	赤い木

表 中南米の国名の由来



ひらかわ・あらた  
昭和25年、福岡県出身。東北大学名誉教授。

東北大学災害科学国際研究所の所長などを経て、平成26〜31年度まで宮城学院女子大学学長を務めた。専門は日本近世史、歴史資料保全学。令和4年4月に、3代目のサン・ファン館館長に就任した。